



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**SDGsシンポジウム：「誰も取り残されない愛知」
を実現するために何をすべきか**

SDGsと愛知の**教育**

～**持続可能な社会の創り手**の育成をめざして～

国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良教育大学
ESD・SDGsセンター 副センター長
及川 幸彦 (地球環境学博士)



持続可能な開発目標 (SDGs) と教育



目標4. 「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」

教育を通じて、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする

4.7 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、**全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。**

SDGsの達成に向けた教育：ESD for 2030



文部科学省ホームページを元に作成

- ① 教育は持続可能な社会の担い手づくりを通じて**すべての目標の達成に貢献する**
- ② SDGsに向けた**教育を推進することが、人材育成を通じてSDGs達成につながる**
- ③ **教育は、すべてのSDGsの実現の鍵である**
- ④ SDGsの達成に資する**教育 = ESD**

Education for **Sustainable Development**

【第2期ESD国内実施計画】

ESDの実践を通して、学校教育にとどまらず、社会教育や生涯学習等を含めたあらゆる場面での教育活動を通じて習得された知識、技能、価値観を行動変容に生かすことが、**持続可能な社会を実現するための目標であるSDGsの達成につながる。**

ESDとは何か？：第2期ESD国内実施計画

我が国における「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関する実施計画（第2期ESD国内実施計画）

2021年（令和3年）5月31日決定 持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議

「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）」とは、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、問題の根本的な要因等にも目を向け身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のことである。

SDGs達成に資する教育（ESD）の価値

これまでの学校教育を中心とするESDの実践を通じて、その効果や成果として2つのことが指摘されている。

① ESDに取り組むことによって「教育の質が向上する」

→ ESDの「E=教育」を重視する視点

② 「教育が持続可能な社会づくりに貢献する」

→ 「SD=持続可能な社会の創造」を強調する視点



この両輪の連結こそがESDを特徴づけるものであり、ESD、すなわち「持続可能な社会を創る教育」の価値を示すもの

新学習指導要領（学校教育）とESD/SDGs

学習指導要領前文：「持続可能な社会の創り手」の育成

- これからの学校には、（中略）一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となること（=ESD）**ができるようにすることが求められる。
- このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた **教育課程**である。

愛知のESD：ESD世界会議 in あいち・なごや

開会全体会合・閣僚級会議(名古屋国際会議場)2014年11月

1. 参加国・閣僚者数等

1) 愛知・名古屋(11月10日(月)～12日(水))

○正式参加者：150か国・地域 1,000名以上

○閣僚級：76名(大臣:52名、その他:24名)

○併催イベント：約900名

2) 岡山(11月4日(火)～8日(土))

○ステークホルダー会合参加者：約1,800名

(Studentフォーラム、教員フォーラム、ユネスコスクール全国大会、ユース・コンファレンス等)

2. 世界会議における成果

1) 採択された各種宣言

① 「あいち・なごや宣言」

② 「ESD推進のためのユネスコスクール宣言」

③ 「ユース・ステートメント」

④ 「ユネスコスクール世界大会Student(高校生)フォーラム共同宣言」

2) 「国連ESDの10年」の後継プログラムである「グローバル・アクション・プログラム」(GAP)開始

3) 「ユネスコ/日本ESD賞」創設の正式発表

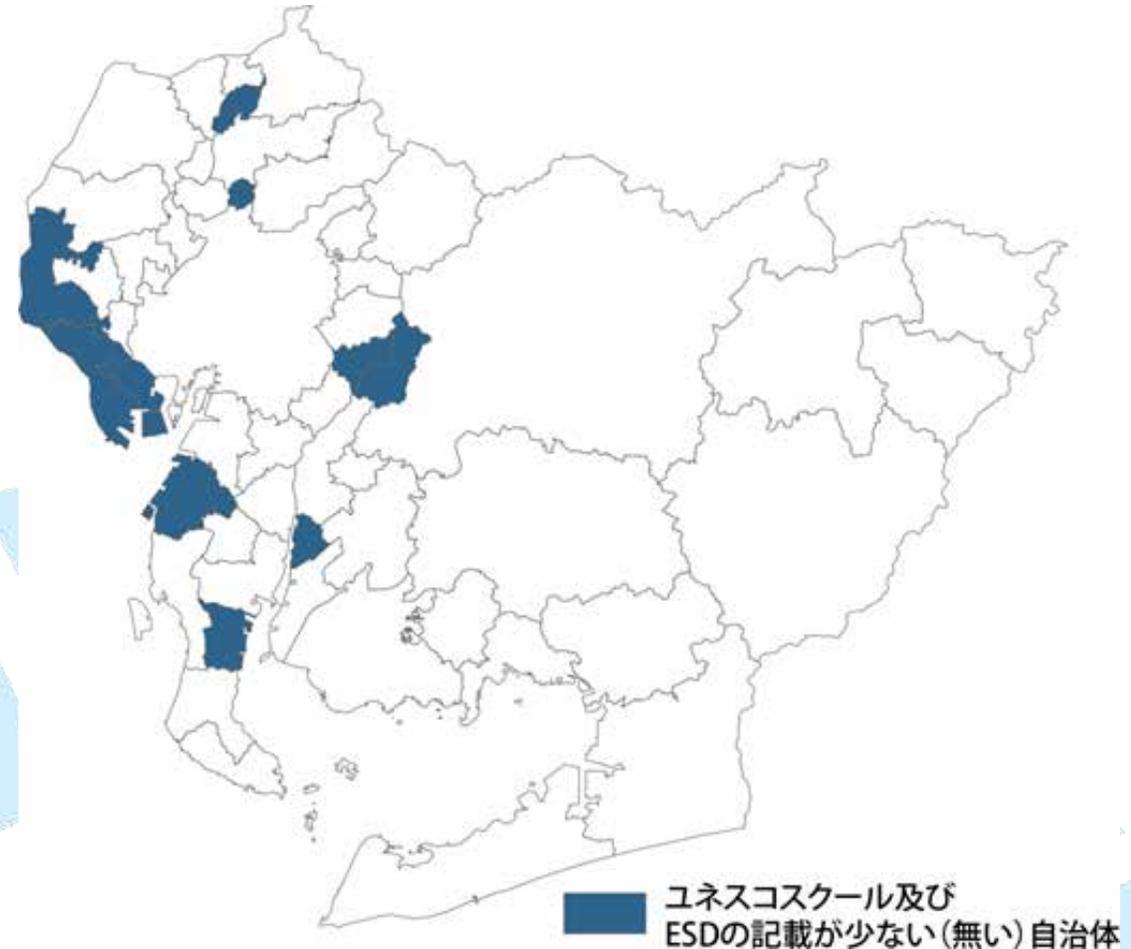


愛知県のESD：教育大綱・振興基本計画

SDGsの達成に資する教育 (ESD)

文部科学省がSDGsの達成に資する教育（ESD）の推進拠点と位置付けるユネスコスクールは、愛知県内に159校、全国第1位。

教育大綱や教育振興基本計画にESDやSDGsに関する施策について言及している自治体は39。両方ともないのが、10自治体。全県的な推進が望まれる。

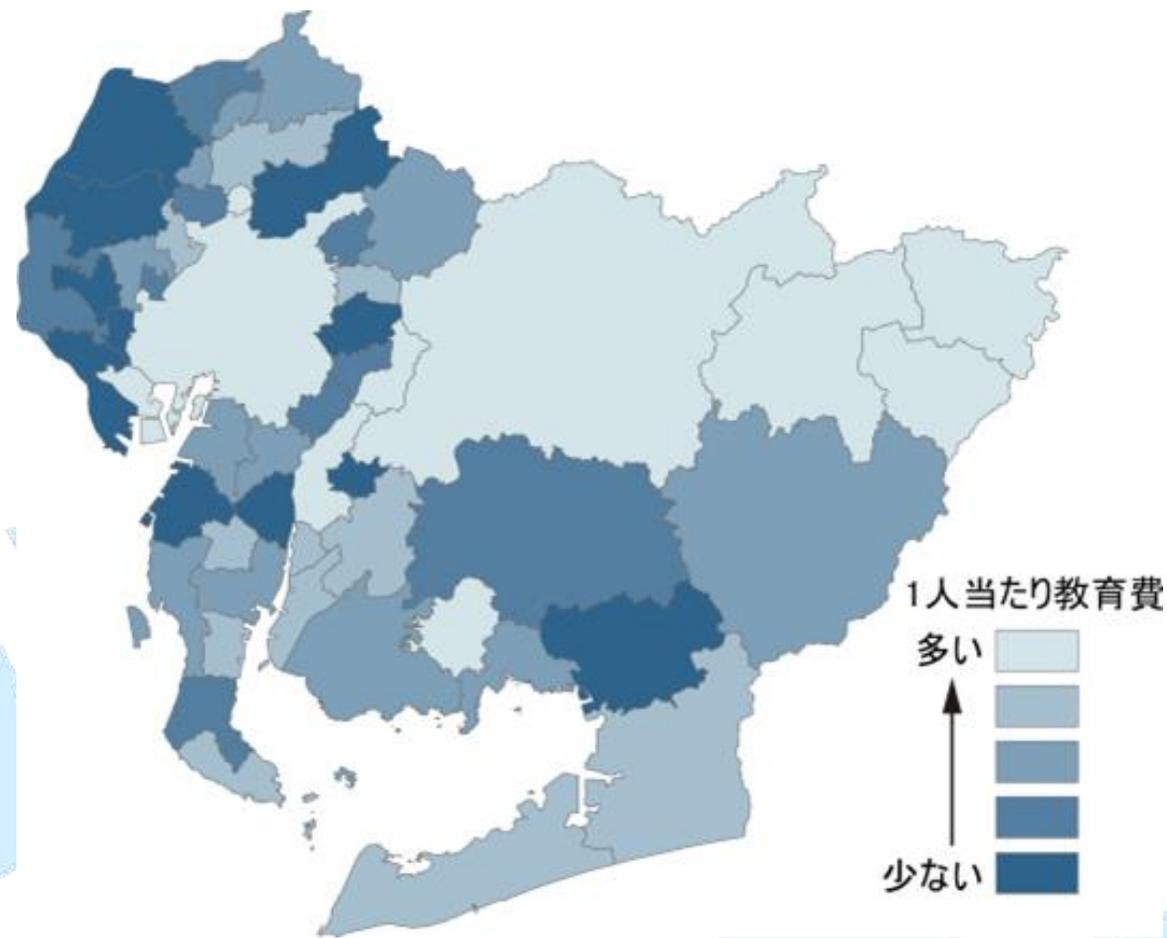




愛知県の教育環境：教育予算の格差

子供一人当たりの教育費の割合

愛知県で子供一人当たりの教育費の割合が高いのは、人口規模の小さく教師一人当たりの生徒数の少ない山間部の自治体か、工業地帯の財政規模の大きい自治体に大別される。逆に知多や海部等の自治体は高くなく、地方間の教育環境の格差解消が課題となる。



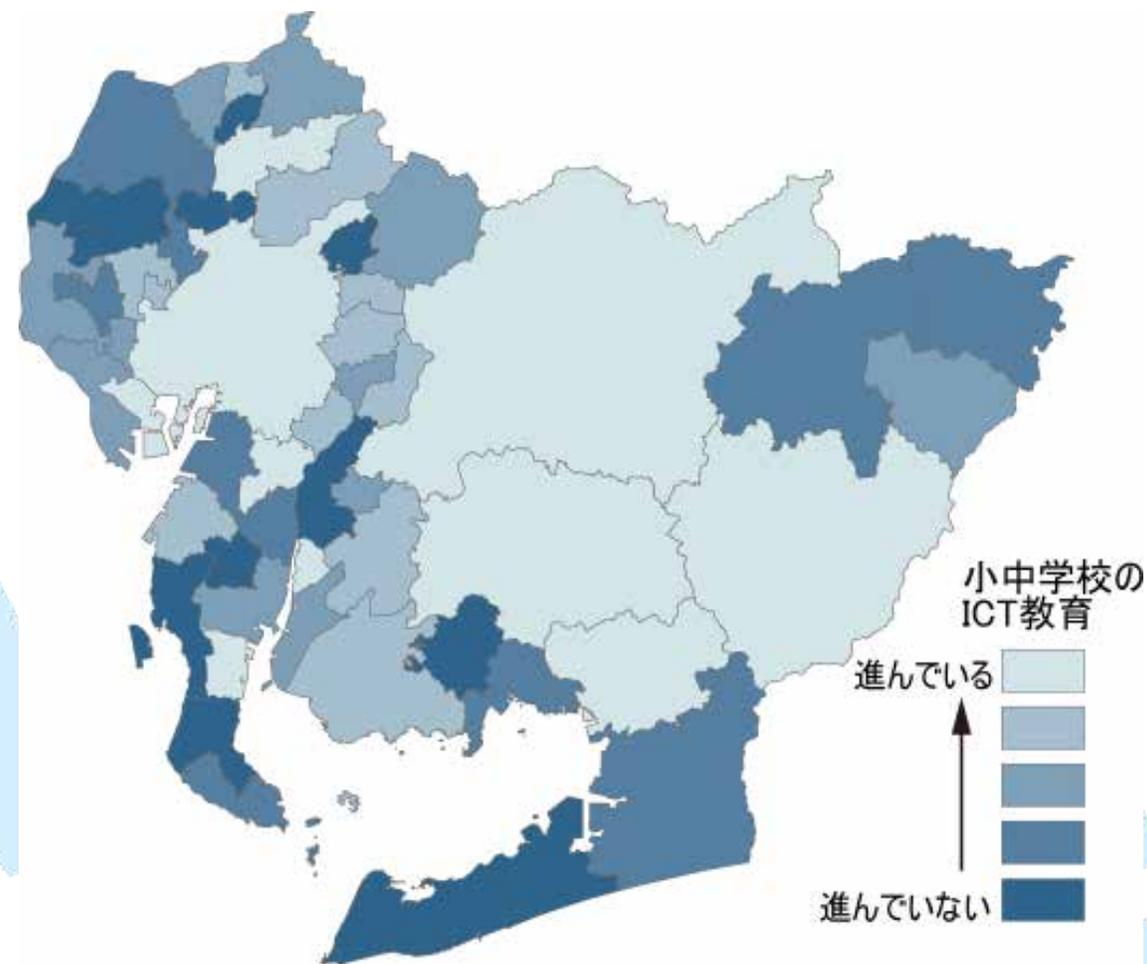


SUSTA
DEVEL
17 GOAL

愛知の教育環境：ICTの普及率

小中学校のICT教育 の環境

文部科学省の「GIGAスクール構想」により、ICT教育の充実が図られているが、愛知県内ではICT環境の整備状況にばらつきがみられる。SDGsの達成に資する教育の展開に向け、ICT活用の促進が望まれる。



今後の教育課題：身近に迫る災害に備える教育

令和6年1月1日の能登半島地震による建物倒壊・火災・津波

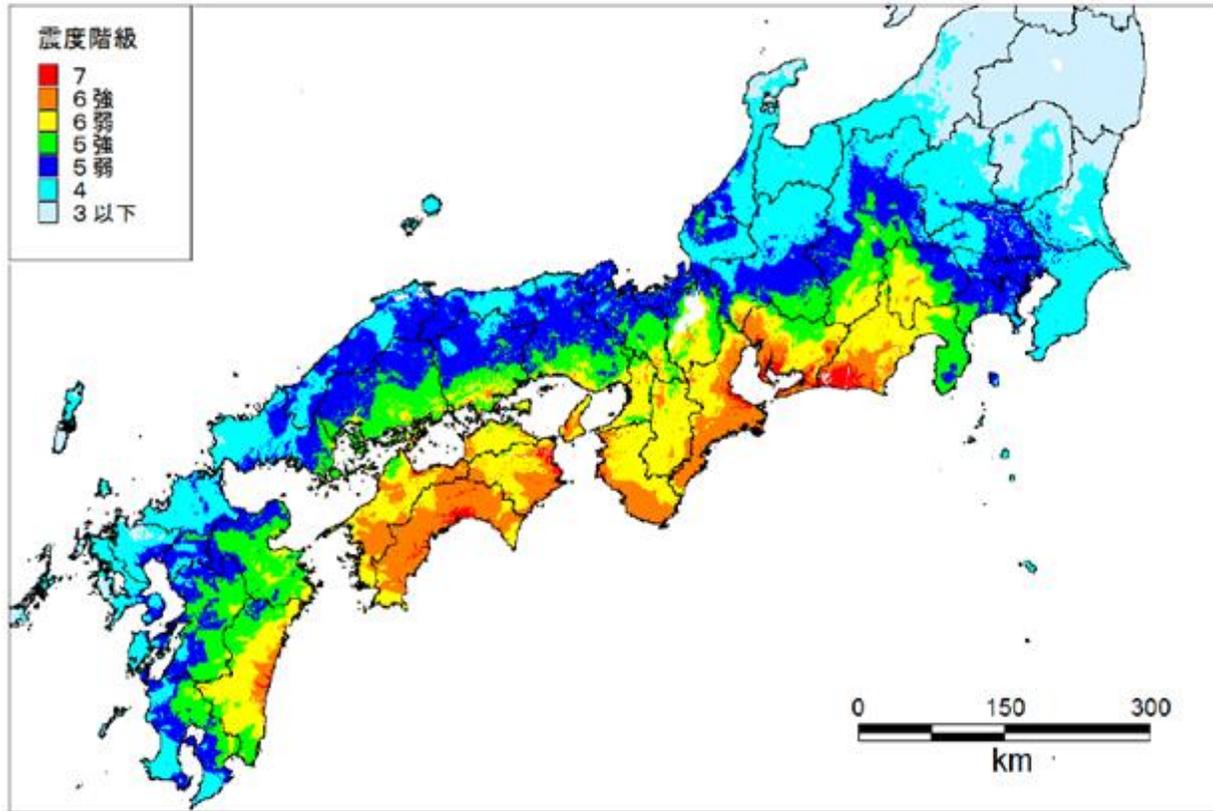


出典：NHKニュース

南海トラフ地震（M9.1）と震度と津波リスク

地震の最大震度

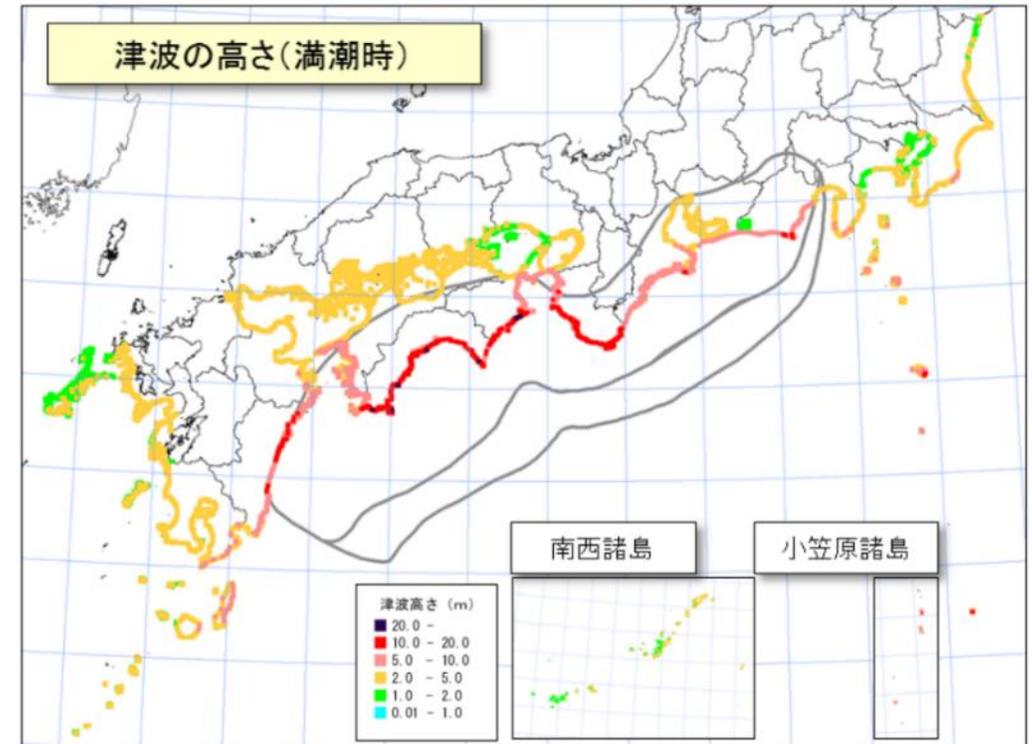
※東海・近畿・四国で震度7～6強



津浪の高さ（波高）

出典：内閣府

※東海・近畿・四国で20m超（高知34m）



【ケース③「紀伊半島沖～四国沖」に大すべり域を設定】

被害想定→死者：約231,000人、負傷者：525,000人、愛知県の死者：14,000人、負傷者：81,000人

SDGsへの防災教育からの多角的アプローチ

出典：奈良教育大学 及川幸彦

目標1：あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



目標2：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



目標7：すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標15：陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



目標11：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする（防災・減災）



目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



目標8：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する



目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する（温室効果ガスの排出と削減）

